

平成26年度 第2回印西市入札等監視委員会会議要旨

- 1 開催日時 平成26年11月10日(月)
午後1時15分から午後3時15分まで
- 2 開催場所 市役所 本庁舎41会議室
- 3 出席者 瀧 和夫 委員、仲田 一元 委員
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局 染谷管財課長、林主査、大野主査補、立原主任技師
- 6 議 題 1. 議事
2. その他
- 7 議 事

(議事 (1) 平成26年度上半期の入札手続き状況について)

議長 これより、平成26年度第2回印西市入札等監視委員会をはじめめる。
はじめに、平成26年度上半期の入札手続き状況について、事務局より説明をお願いしたい。

【事務局より、平成26年度入札状況(上半期)の概要を説明】

議長 何か質問、意見があれば、お願いしたい。

議長 国から入札の不調や競争入札が成立しないときに、1者でも応札があれば、それを可とするという方向に動く様な話があったが、市としてはどの様に考えているのか。

事務局 千葉県については、新聞の報道があった様に1者入札を有効にするという方針で、11月から執行している。我々もその問題について、検討していきたいと考えている。今回、中止の案件をご説明し、ご意見を伺い、制度改正に取り組んでいきたい。

議長 今回のこの件数については、まだそこまでは踏み込んでいないということか。

事務局 1者入札であった場合は、再度入札や随意契約を行い、ほとんどの処理は終わっている。現状では契約ができている状況だが、工期等に影響がある場合もあるので、今後、検討を踏まえて制度改正を行う必要があると考えている。

議長 その他、質問や意見はあるか。よろしいか。

【委員了解】

議長 事前に抽出した入札案件の状況について、審議を進めたい。事務局よ

り個別に説明をお願いしたい。

《 平成26年度事業系一般廃棄物収集運搬業務委託 》

議長

何か質問、意見があれば、お願いしたい。よろしいか。

【委員了解】

《 平成26年度事業系資源ゴミ収集運搬業務委託 》

議長

何か質問、意見があれば、お願いしたい。

委員

一つ前の平成26年度事業系一般廃棄物収集運搬業務委託との比較したとき、落札率は80.7%と33.5%となっているが、どの様に考えられるのか。

事務局

一般廃棄物収集運搬業務委託については、ゴミの処分までを含めて税込40円で、この内、クリーンセンターでの処分単価26円が含まれているため、あまり安くはならない。資源ゴミ収集運搬業務委託については、リサイクル業者への運搬納入業務が主で、処分費等は含まれていない。運搬業務で経費を節減したものと考えている。

議長

処分費とは何か。

事務局

焼却場へ支払う費用。印西市、白井市、栄町で構成する一部事務組合が運営するクリーンセンターで処分をしており、処分費用は1kg当たり26円となっている。この費用を含んだ設計となっている。

議長

受注した千葉クリーン株式会社は、組合に支払う費用を含めた形で入札しているということか。

委員

単価にすると、1kg当たり3円程度しか儲からない。資源ゴミの方は、約80万円ということだから、一人雇って年間80万円でやってもらうということになる。

事務局

収集は資源ゴミなので月1回程度となっている。

委員

仕事は運搬だけなので単純な作業だとは思う。

事務局

この業者は、市の一般収集も請け負っており、そちらと調整して一緒に業務を行うことで人員配置の効率性を高めて、経費を節減しているとのこと。

事務局

以前から、請負率が40%程度なので、そういったことが要因になっているのではないかと考えている。

議長

仕事のシステムとして、業務の抱き合わせができるから成立するのだが、入札としては、抱き合わせて実施することは想定していないと思うが、その辺りはどう考えているか

事務局

現状からすると、一般家庭のゴミの収集運搬は市の発注ではなく、一部事務組合からの発注になっているので、なかなか抱き合わせというのは難しいと思っている。

議長

その他、質問や意見はあるか。よろしいか。

【委員了解】

《 小学校し尿浄化槽保守点検業務委託（A地区） 》

議長

次の案件も関連があると思うので、続けて説明をお願いします。

《 小学校し尿浄化槽保守点検業務委託（B地区） 》

議長

何か質問、意見があれば、お願いしたい。

委員

A地区とB地区で業者を入れ替えているが、ウッドテック株式会社だけが両方に入っているのはなぜか。

事務局

ウッドテック株式会社は市内業者なので、両方に参加させている。

委員

A地区とB地区で落札率が94%と58%と異なるのはなぜか。

事務局

担当課に問合せしたが、結果なのではっきりとしたところはわからなかったが、A地区とB地区の違いは、A地区は流末の関係で検査頻度が高い。そのため、他の業務との調整が難しく、安くするのが難しいのではないかと考えている。またA地区については高度処理をしており、専門的な保守となるので厳しい入札結果になっているのではないかとのことだった。

議長

A地区は処理した後の排水はどこへ放流しているのか。

事務局

浦部なので、最終的には手賀川を経て利根川に流れていると思う。

議長

B地区はどうか。

事務局

中根なので、将監川から印旛沼に流れていると思う。

議長

流域下水道に入っていくのか。

事務局

し尿処理されて、下水道ではなく、雨水として河川に放流される。

議長

高度処理は、利根川は規制がかかっているのか。

事務局

おそらく流末の方でそういった規制をかけているのだと思う。そこまでは担当課でないとわからないが、高度処理の必要な状況だと聞いている。

議長

高度処理することは水質のことを考えれば、非常に理想的な話けれども、法的に網がかかっているのか。あまり聞いたことがない。

事務局

流末の管理者からの要請や条件ではないかと思う。

議長

印旛沼の方は、水質としては危機的な状況だと思うのだが。

事務局

そうだと思うが、流末との協議によるものだと思う。

議長

高度処理だから、落札率が高い、或いは低いというのは違和感がある。推測だが、受託業者の機械ではなく、専門的な機械でないと見られない部分があるのではないかと担当課からは聞いている。

議長

A地区の高度処理の設備はいつ設置したものか。

事務局

担当課に確認する。

議長

メーカーを呼ばないといけない様な新しい機械なのか、それとも、一般的になっている機械なのか。わざわざメーカーを呼ぶから落札率が

高くなるのか。

事務局

設計内容に対して業者ができる金額での入札結果なので、これがこの業者の限界だったのだと思う。下げきれないというよりも、予定価格以内なので特に高いとは考えていない。

議長

B地区の方は、高度処理ではなく一般処理ということだと思うが、施設のメンテナンスの頻度が低いから落札率が低いのか。それは設計自体が、例えば高度処理だから1週間に1回とか、一般処理だから1ヶ月に1回とか、その様になっていて、設計で単価が決まっているのではないか。

事務局

設計単価は、回数で決まっている。推測だが、月に1回実施するのであれば、他の案件と調整をしながら同時に行うことで、コストを削減するということも可能だと思うが、毎週となれば、調整できる範囲が決まってきてしまうので、難しい部分が出てくるのではないかと推測している。

議長

この業務のみで人件費を取るか、それとも何カ所かの事業の中で何分の一かで取るか、その違いがあるということか。

議長

その他、質問や意見はあるか。よろしいか。

【委員了解】

事務局

A地区の高度処理設備の設置時期だが、平成3年2月だった。

議長

設置から23年経過しているということになる。それだけ経っていると、そんなに特別な技術ではなくて、それぞれメンテナンスを行っている事業者が、わかってきているのではないかという気はする。

事務局

その様な中でもこれ以上はコストダウンできないという線が、入札額になっていると思う。

議長

そんなに特殊なものではなく、一般的な技術ということならば、入札に参加した事業者が勉強不足なところがあるのだろうか。

議長

その他、質問や意見はあるか。よろしいか。

【委員了解】

《 印西市第2次基本計画策定業務委託 》

議長

何か質問、意見があれば、お願いしたい。

議長

3回の入札で各7者指名していることになるが、全体では何社くらいが、この条件に合致していたのか。

事務局

「調査・計画」の入札参加登録の中から、同様の実績のある者から7者を選定している。履行実績についてはすぐには調べられないので、「調査・計画」の登録業者数で良ければ確認する。

議長

登録業者の中から、その7者をどうやって選定したのか。

事務局

1回目の7者は、同種の履行実績として、同様の基本計画等を近隣市町村で受注しているといった様な、実績の中でもなるべく実態に合っ

た実績を持っているところを指名している。2回目は、辞退や未入札だった業者を外して選びなおしている。3回目は、落札した業者が契約を辞退したので、この業者と他の辞退した業者を外してその他は同じ業者を指名している。

議長 印西市周辺の地理的な地勢を理解していると思われる業者を選定しているということか。

事務局 その様にしている。

議長 その他、質問や意見はあるか。よろしいか。

【委員了解】

事務局 「調査・計画」の登録業者数だが、県内業者で177社だった。この登録業者の中で同種の履行実績を有する者から選定している。

【委員了解】

《 防火水槽撤去工事（H26-1） 》

議長 何か質問、意見があれば、お願いしたい。

委員 地面に埋まっている物を掘り起こして、産業廃棄物として捨てるということだと思うが、随分と安い気がする。

議長 他の事業と掛け持ちにしているから安くなるということか。

事務局 自社の職員と下請を効率良く使っていることがコスト削減の要因と聞いている。

議長 できるだけ下請を使わずに自社の職員でやるということか。

事務局 そういうこともあると思う。

議長 自社の職員を使うと安くなるのか。

委員 普段、遊ばせている様な状況なら採算が取れる様になると思うが、世間では人手不足といわれている状況で、そういうことがあるのかなと思う。

議長 一般的に外注になると高くなるのか。

委員 外注費は変動費だから、外注しなければ発生しない。社員は仕事が無くても給料が発生する固定費。社員が遊んでいる様な状況なら外注しないだろうが、社員が手一杯で仕事を受けてしまうと外注して儲からなくなる可能性はある。この資料だけでは何とも言えない。

議長 市の積算ではどうなっているのか。外注は関係してくるのか。

事務局 積算としては外注というよりも、撤去するコンクリートのボリュームにより計算している。

議長 その中に人件費も全部含まれるのか。

事務局 含まれる。千葉県の積算基準で、例えば、コンクリート10m³を壊す時は、作業員3人、重機何時間といった標準的な工事を設定して、立米単価がいくらかを求め、撤去するボリュームに立米単価を掛けて積算している。積算基準は県内で同じ歩掛りを使用しているので、それ

をプラスするとかマイナスするとかは基本的にやっていない。どこでも同じような設計、積算ができる様になっている。その他に現場の状況によって仮設等は違ってくるが、基本的にはこういった作業が見込まれるかというのが積算の作業になってくる。

議長
事務局

撤去で出てきたゴミの処分はどうか。

現段階では、搬出されていないということで、今後、マニフェストや追跡調査等で確認すると担当課からは聞いている。

議長
事務局

その辺りもしっかりお願いしたい。

また工事を進める中で、変更要素として地下水が発生していると聞いている。そのため、撤去まで進んでおらず、これから仮設について、現場に合わせた設計に変更する予定とのこと。

委員
事務局

埋め戻しも含まれているのか。

埋め戻しも含まれている。

委員
事務局

結構、厳しい仕事ではないのか。

撤去工事は、なかなか把握しにくい要素がある。

議長

どうしてもこの仕事を取りたくて、赤字でも良いから取るというものなのか、或いは様々な経費削減をすることによって、この価格で行けるということなのか、その辺りはどうか。

事務局

ヒアリングの中では、無理やり取っているという感じではなく、うまくコスト削減ができたという話だった。開札調書を見ると、3者の入札だが、2者が約150万円程度、1者が270万円と、今回の案件については、結果なので何とも言えないが、かなりコスト削減がうまくできたということだと推測している。予定価格が高すぎるということではないと思っている。

議長

安いのは良いが、安いなりのことしかできなかったということがない様にしてもらいたい。

事務局

安全管理等をしっかり行っただうえで、注意して進めていきたい。

議長

その他、質問や意見はあるか。よろしいか。

【委員了解】

《 平成26年度印西市役所市民課・出張所モノクロ複合機購入 》

議長

何か質問、意見があれば、お願いしたい。

委員

この案件は、複合機の他に購入しているものがあるのか。

事務局

機種の入札と保守費ということで、入札額には30万枚分の保守料が含まれている。

委員

1枚当たりいくらなのか。

事務局

1枚当たり1.7円となっている。インク等を含んだ金額になっている。

委員

それくらいの金額で妥当な金額だと思う。

事務局 設計では、1枚当たり3円で見込んでいた。
 委員 それでは高いのではないか。
 事務局 カatalog等では1枚当たり5円、実情を踏まえた上で設計を組んでいるのだが、それでもこれだけ入札額と差が出てしまう。
 議長 低価格で受注できた理由が営業戦略ということだが、これが効いているのか。
 事務局 業者としては今回の案件に関しては、多少の無理はしているのかもしれない。
 議長 今までこの市民課等には別の業者が入っていたのか。
 事務局 落札業者の株式会社トーエイはあまり受注実績が無いと思う。
 議長 営業戦略という部分が大きいということか。
 事務局 そういったこともあって、少しがんばっているとは思う。
 議長 その他、質問や意見はあるか。よろしいか。

【委員了解】

議長 < 小・中学校 消火器及び消火栓ホース購入 >
 委員 何か質問、意見があれば、お願いしたい。
 事務局 消火器やホースのメーカーはみんな同じなのか、それともいくつかあるのか。
 委員 メーカーが一つしかないということは無いと思う。仕様に規格を定めて発注している。
 事務局 特注品ということではないということで良いのか。
 議長 特注品ではない。
 事務局 開札調書を見ると、この入札者の順番は金額順に並んでいるのか。
 議長 金額順に並べている。システムで開札調書を作成すると金額順に作成される。紙入札で実施する場合は異なる。
 事務局 メーカー側からすると、A社とB社から見積り依頼が来たということがあるのだろう。
 議長 そういったこともあると思う。
 事務局 深い付き合い、浅い付き合いによって金額が違うということか。
 議長 日頃の納入状況によっても金額は変わってくると思う。
 事務局 営業戦略というのが、どうしても低価格になると出てくる。
 委員 そういったところはあると思う。何としても取るという時があるのではないか。
 議長 機器類は格安で入荷したということだが、この価格で本当に購入できるのか気にかかる。そういったことを防ぐために適正な入札というものをここでやっていると思う。
 事務局 消火器やホースについては、規格が決まっていて、検定を受けていると思う。検定マーク等を確認しているので、特に中古品だとかいうこ

とは無いと思う。

議長 過去にコピー機等で1円入札というのがあったが、1円でコピー機が作れるのかということと同様に、ホースがその値段で本当にできるのかという意味で、もちろん営業戦略となれば別だろうが、やはり適正な価格で入札や事業を進めて欲しいというのが、この委員会の考え方だと思う。

委員 積算根拠に3者から見積りを徴収しているということだが、メーカーも数少ないと思う。メーカーや入札業者の内容が重複する可能性があると思うが、見積りが適正と言えるのか。

議長 この3者から見積りというのは、そこまでチェックをしているのか。

事務局 こちらでは見積りの内容までは確認していない。

議長 3者がどこかというのは別として、書類が整っているかを確認しているのか。

事務局 見積書は正式なものを求めている。

議長 内容がわかり、確認が取れているということか。3者から見積りを徴収して、最低価格を市としては確認ができているのか。

事務局 3者から見積りを取り、価格設定の根拠にして、設計として決裁を取っている。見積りについては、市から実勢価格の見積りを依頼しても、実態を掴むのが難しく、実際の流通価格かどうかは判断できない。歩切りや査定については、コピー機などはかなり安くなってしまうので査定をしているが、一般的には宜しくないと言われている。

議長 その他、質問や意見はあるか。よろしいか。

【委員了解】

《 平成26年度竹袋焼却場跡地環境調査業務委託 》

議長 何か質問、意見があれば、お願いしたい。

議長 県の積算基準に基づいて設計していて、積算に誤りはないとのことだが、誤りがなくて、どうしてこんなに安くなるのか。

事務局 1検体の値段が県単価で定められており、安易に安くすることはしていない。きちんとした積算単価や歩掛りのある発注案件なので、それに基づいた設計をしている。それに対して、かなり安い入札になっている。

議長 この業務は、設計額の40%まで下落する様な許容範囲を持っているのか。分析というのは、相当量の人件費が含まれていると思う。最低賃金を確保しながら、なおかつ40%まで落とせるというのは、どうということなのか。薬品代も電気代も出ないのではないのか。

事務局 一概に言いきれないが、積算の中身と現実的な金額と乖離した部分があるのかなという感じがすると思う。

議長 試験所は試験能力に関するISOを取得しているとあるが、どんなも

のか。また官公庁から同種業務を多数受注しているとのことだが、これはどこなのか。例えばこの周辺のものなのか、或いは同じ様な種類のものを受託しているのか。

事務局
議長

具体的な内容については、業者に確認しないとわからない。
一番心配しているのは、データの改ざんなんてことが行われていないか。分析がいい加減だとか、数値を修正してしまうとか、そんなことはないか。

事務局

この業種については以前から落札率が40%前後となっており、業者も変わっている。1社がずっとやってきている訳ではないので、改ざんということはある得ないのではないかと思います。

議長
事務局
議長

この分析調査系は落札率が50%以下というのは多いのか。
分析調査系は毎年低い額になっている。
積算のマニュアルは根拠に基づいて出来ているはずなのに、それを下回るとするのは本当に健全な競争と積算がされているのだろうか。価格を下げてでもやって行けるなら良いが、そのうちどこかの会社が潰れるのではないか、こういう弱肉強食の世界は本当に良いのだろうか。低入札になる理由をもう少し厳密にチェックしておいてもらいたい。
業務内容ということか。

事務局
議長

業務内容もそうだが、積算の根拠等も確認しなければいけないのではないか。営業戦略と言われると何とも言えないが、事業としては人件費が相当な割合を占めていると思われるにも関わらず、入札率が40%まで落とせるというのはどういうことなのか。業者からの回答もわかる気がするが、役所としては聞いておく必要があるのではないか。多分、他の同じ分析項目を持った案件を同時に分析するので薬品が3分の1の量で済むとか、様々な営業努力をしているという様な、ゴミの収集運搬の案件に近い話ではないかという気がする。

〃
議長

その他、質問や意見はあるか。よろしいか。

【委員了解】

事務局

ISOの取得については、ISO17025を取得しており、試験場や校正機関が取得することにより、試験や校正の信頼性を担保するというもの。

議長
事務局
議長

分析関係ということですね。
受注実績については、担当者不在とのことで確認できなかった。
わかりました。その他、質問や意見はあるか。よろしいか。

【委員了解】

《 (仮称) 木下学童クラブ新築工事設計業務委託 》

議長
委員

何か質問、意見があれば、お願いしたい。
この設計事務所の売り上げは、年間540万円くらい。一人でやって

議長 いるから、自分一人の人件費くらいか。よろしいじゃないかと思う。

委員 自己資本というのは他にもあったが、マイナスというのはどういうことか。

委員 会社なのか、個人事業主なのかかわからないが、会社であれば、例えば300万円資本金で出したのに赤字が500万円あるとか、債務超過ということになる。多分、500万円の売り上げだから、自分が頑張ればなんとかなるという意味では、コストは自分だけだからコストゼロということになるのではないかと思う。

議長 自己資本額というのは個人の事業だから、あまり大きくしないというのが基本的なところか。大きくすると税金が多くなるのか。

委員 売り上げそのものが上がっていないので、事業所得だけだと思う。多分、金額もぎりぎりを出していると思う。

事務局 自己資本額については、そのみで指名を左右するということまでは考えてはいないが、他の業者や項目を加味した上で選定している。由旭建築設計事務所は市内業者なので、年間完成工事高もあるので、すぐに倒産するということもなかろうということで指名している。市内業者は特に市で指名しないと、仕事が厳しくなっているところがあると思うので、自己資本額がマイナスということをもって、指名から外すということまでは行っていない。

議長 この設計事務所は何年くらい営業しているのか。この数字からは信用できるだろうということだろうが、仮に2～3年前からということだと、信用面ではどうか。

事務局 知っている限りでは、10年は営業している。

議長 わかりました。

議長 その他、質問や意見はあるか。よろしいか。

【委員了解】

《 平成26年度上半期低入札案件調査 》

事務局 平成26年度上期低入札案件調査について、内容等に企業秘密を含んでおり、非公開として欲しいという意見がありましたので、集計表以外の資料について、非公開として宜しいか。

【委員了解】

議長 何か質問、意見があれば、お願いしたい。

議長 安倍内閣では地方をもっと活性化させようということで、大臣まで就任させてやり始めているが、低入札は地方の活性化に大きく影響するのではないかという気がする。市として考えていることはあるか。

事務局 制度の中でどうするかとなると思うが、最低制限価格や低入札価格調査の底上げ、業務委託の最低制限価格制度の導入といった様なことを

考えていかなければいけない。ただ価格が安くなったではなくて、品質確保や労働環境向上といった様なことも考えていく必要がある。価格が安いことと、入札率が高いことは逆のことなのでなかなか難しい面があるが、少ない額で最高の効果をという原則を基に、バランスをうまく取りながら制度設計をする必要があると思っている。

議長 バランスを崩さない様な運営をして頂きたい。

議長 その他に何かあるか。

委員 公園管理だとか街路樹管理は、ぴったり70%程度になっているがどうしてか。

事務局 最低制限価格制度を導入したためだと考えている。70%を切ると失格になり、最低制限価格から一番近い業者で1円でも高い業者が、受注することになるので、ほとんど70%に近い形になる。

委員 予定価格は伏せられているのか。

事務局 入札時点では非公表。70%を切ってしまうと失格になるので、失格の業者も何社かある。請け負えるのは70%ちょうどか、その近辺の業者になる。

委員 業者の方から見ても予定価格は推定できるのか。

事務局 やり方や率は公表しているので、最低制限価格は概ね推定できる。

委員 自分達で予定価格がこの辺だなと計算して、そこから70%が最低制限価格という感じなのか。

事務局 設計単価は入札時点で非公表だが、積算本も千葉県で閲覧できるので、ある程度想定はできる。その上で、最低制限価格に一番近い線を探りながら入札しているのだと思う。

委員 70.0%というのは大変なことだと思う。

事務局 昨年度は公園管理等に最低制限価格を設けていなかったこともあり、落札率は40%とか50%だった。そういった低い価格での入札だったことについて、議会からも指摘があった。これらの業務委託は人件費が費用の大部分を占めていることから、業者や作業員への影響を考慮し、今年度から500万円以上の場合は最低制限価格を設定することとなった。結果として、その様になっていると考えている。

委員 会社を経て市内の人達に給料として支払われるのだろうから、地域の人達のためになって、良いのではないかと思う。

事務局 最低制限価格制度を導入することによって、受注できれば安定して仕事ができるという面はあるが、最低制限価格未満では失格になるので、最低制限の金額を当てにいく様な入札になってしまう。本来、コスト削減をして安くできるという様な業者の努力による競争が、1円でも最低制限価格に近付けるという数字当てになってしまう可能性もある。

委員 70.0%というのを第三者が客観的に見たときに、価格を当てにい

くことや偶然にしても、3つも4つも70.0%があるという不自然さはある。

事務局

本当に際どい中での勝負になって、10円、100円、場合によっては1円というところで、業者が決まってくるので、決して70.0%でもおかしい入札ではない。

委員

この近辺に集中してくるということか。

事務局

その様になる。そこで受注を目指して入札している。

委員

やっていることは毎年だいたい同じだから、想定はできるということか。

事務局

人件費はもちろん上げているが、結果としては集中してその辺りになる。本来の入札は、それぞれの会社の業務内容の工夫を基に入札額を決めて入札するのが基本だと思う。しかし、極度に度を超すと落札率30%とかになる場合もある。失格ラインを作れば、経費節減ではなくて数字を当てになる可能性がある。どちらにも善し悪しはあると思うので、慎重にその範囲を広げていく必要はあると思っている。

議長

痛し痒しですね。

議長

その他、質問や意見はあるか。よろしいか。

【委員了解】

議長

コメントとなるかもしれないが、基本計画策定の様なコンサル業務のことで、受注経験のある業者を選定すると思うが、経験があるだけでは駄目だと思う。中途半端な結果しか得られていないとか、酷いものになると役所の方が報告書まで書いたという様な話を聞くので、評判や担当者の思いを聞いて選定しないと、役所の担当者が苦勞することになる。今、計画策定であるコンサルとお付き合いをしているが、やっぱり物足りない。その市の方に聞いたら、受注実績を見て、信頼できるだろうと思い選定したという話だった。多分、経験されている部分があるのではないかという気がする。そんなことに気を付けて頂きたいと思う。

議長

その他、質問や意見はあるか。よろしいか。

【委員了解】

《 入札中止・不調後の手続き 》

議長

何か質問、意見があれば、お願いしたい。

議長

入札辞退の理由だが、「技術者の確保が困難」、「作業員の確保が困難」、「手持ち工事が多く受注が困難」の3つだけ見ていると、景気が良いのかなという気がするが、印西市としてはその様な実感はあるか。

事務局

実際に手持ち工事が多くて、受注できないという業者もいる。景気が良いというのはなかなか言えないが、例えば、先程の現場代理人の常

駐義務が付されていて他には受注できず、取りたくても取れないという
うのはあると思う。

議長

この3つの事柄に関するもので57%あったということだが、市内業
者と市外業者の比率はどれくらいか。

事務局

そこまでの数字は出していない。

議長

ここで説明は無くとも、そういった検証をしておく必要があると思う。
市内業者がそれだけ困っているのであれば、手を打たなければいけな
いし、市内の景気を良くする、仕事を増やすために必要なことだと思
う。

事務局

わかりました。

議長

もう一点、現場代理人の専任を兼任の件だが、以前、景気の良い頃、
現場代理人はいくつも現場も持てる様な状況だったと思う。それが専
属の形に変わった理由を確認しておく必要があると思う。この委員会
では何ともできないだろうが、なぜ専属にしなければいけなかったの
か、不具合が出る可能性があるので、確認をお願いしたい。

議長

その他、質問や意見はあるか。よろしいか。

【委員了解】

議長

本日の議事は終了する。

議長

その他、委員、事務局で何かあるか。

事務局

特になし。

議長

以上で会議を終了する。

平成26年11月10日に行われた印西市入札等監視委員会の会議録は、事実と相
違ないので、これを承認する。

会議録署名委員

龍 和夫